

# おともがわ

学校報 NO, 22

保護者版

平成27年 8月24日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力



## みんな元気に登校!!

今のところ大きな事故・病気等の知らせは入っておりませんので、子どもたちは32日間の楽しい夏休みを過ごしてくれたことと感謝申し上げます。

夏休み中のプール開放12日中2日間天候に恵まれず開放でき

ませんでした。延べ420名を超す利用があり午後の校地内に歓声が上がっていました。

## 仲間が増えました!!

しっかりと日焼けして、一回り大きくなった子どもたちが笑顔で登校してくれました(右写真 上:玄関前,下:中田山玉堂登0校班)。

また、8月1日に南新浜小学校(千葉県)から転入生2名を迎え児童数も99名となり、さらに活気付きそうで楽しみです。

お二人は双子の姉妹で、〇〇〇〇〇(右写真の左:姉)さんと〇〇(右写真の右:妹)さんです。3歳まで内小友(荒町)に住んでおり、夏休み中も内小の子どもたちとも交流があったようですので、どんどん友だちを増やしてくれると期待しています。

職員でも事務職員(臨時)の〇〇〇〇さんを迎えておりますので宜しくお願い致します



## 大仙市PTA連合会主催講演会 演題「“弁当の日”がやってきた」 講師：竹下和男(元香川県公立小・中学校長)

8月1日(土)午後2時～4時、中仙市民会館ドンパルを会場に左記講演会が行われました。共感できる講演内容でしたので、講師について検索したところ、下記の内容が目にとまりましたので紹介致します。

### ◆「3つの時間」が子どもを育てる

私が講演した学校の中にPTAの行事をするたびに参加率がほぼ100%という学校がありました。子どもたちのために、大人たち自身が行動しようということをはっきり表せる学校は、校内が落ち着いている。子どもたちの反応が違う。明らかに優しさが心の中にできあがっている。逆にあれている学校は、子どもたちが他人に優しくするという意味が分かっていない。そういう学校では、親も学校にほとんど足を運ばないことが多い。「地域共同体」というが無意識のうちに、子どもたちを育むのに大きな役割を果たしていたと感じました。

私は、子どもが育つための「3つの時間」があると考えている。「学びの時間」と「遊びの時間」、それに「暮らしの時間」だ。まず「暮らしの時間」というのは、家族と一緒に過ごす衣食住に関する時間。三つ子の魂百までというように、この時間の間に、人生の基礎的なことのほとんど全てができあがる。社会性を育てること、基本的な生活習慣を育てること、我慢する力を育てることなどなど。(一部抜粋)

内小友小学校の学校教育は、家庭・地域というしっかりとした支えがあって成し得ていることを改めて感じました。これからも宜しくお願い致します。

